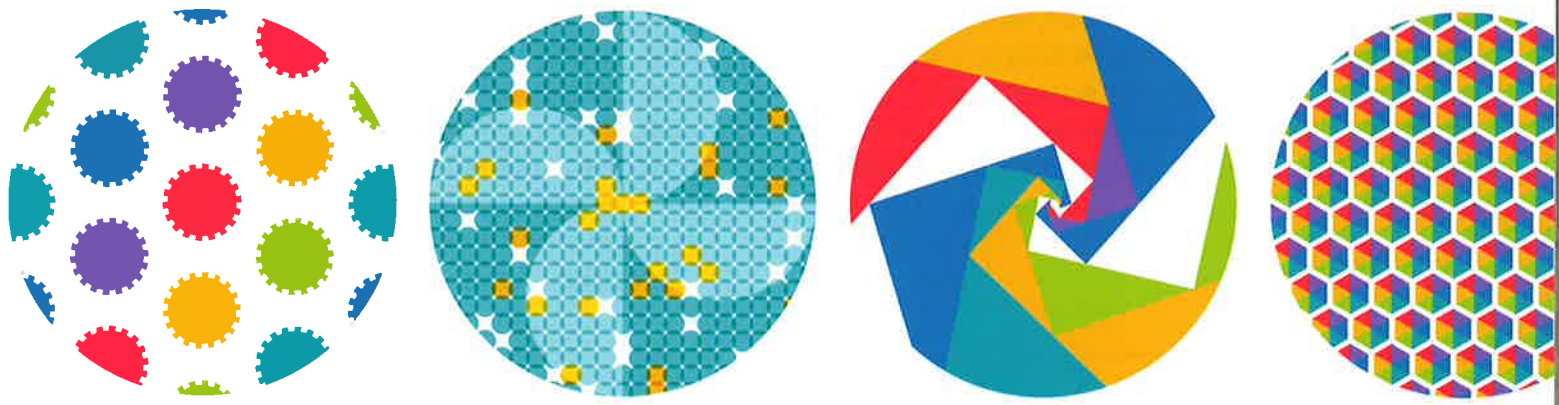


芝浦工業大学2014年度 男女共同参画推進シンポジウム

理工系女性研究者の キャリア形成と研究連携



12/13 **±** **13:00-16:30** (開場 12:30) **会場** 豊洲キャンパス 交流棟 501教室

【プログラム】

13:00	開会の辞 主催者挨拶 来賓挨拶	芝浦工業大学学長 村上 雅人 学校法人芝浦工業大学理事長 五十嵐 久也 文部科学省(予定) お茶の水女子大学学長 羽入 佐和子氏
13:10	講演	「科学技術分野の男女共同参画推進ーグローバルな視点から」 山形大学地域教育文化学部教授 河野 銀子氏
13:55	講演	「医薬理工の異分野融合におけるイノベーションとキャリアパス」 工学部機械工学科准教授 山西 陽子
14:35	休憩	
14:50	パネル ディスカッション	「女性研究者の採用・育成加速のためのポジティブ・アクション」 〈パネリスト〉 山形大学地域教育文化学部教授 河野 銀子氏 学長 村上 雅人 理事 村上 公哉 学長補佐・システム理工学部電子情報システム学科主任 井上 雅裕 工学部機械工学科准教授 山西 陽子 〈コーディネーター〉 デザイン工学部デザイン工学科准教授 野田 夏子
16:20	講評 閉会の辞	独立行政法人科学技術振興機構プログラム主管 木村 忠正氏 学長補佐・男女共同参画推進室長 國井 秀子 〔総司会〕 男女共同参画推進室教授 中野 美由紀



東京メトロ有楽町線「豊洲」駅1cまたは3番出口から徒歩7分
JR京葉線「越中島」駅2番出口から徒歩15分

主催：芝浦工業大学男女共同参画推進室

お問い合わせ先

芝浦工業大学男女共同参画推進室
[E-mail] desk-gequality@ow.shibaura-it.ac.jp
〒135-8548
東京都江東区豊洲3-7-5(豊洲キャンパス)
〒337-8570
埼玉県さいたま市見沼区深作307(大宮キャンパス)

芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター
男女共同参画推進室



【お申込み】

参加無料 下記URLからお申込みください

<http://plus.shibaura-it.ac.jp/diversity/post/546>



科学技術分野の男女共同参画推進
—グローバルな視点から

河野 銀子氏(山形大学地域教育文化学部)

講演概要

日本社会においては、科学技術分野におけるダイバーシティの重要性は知られるようになってきているものの、その実現のためには努力が必要な状況にあります。なかでも、理工系分野の女性研究者・技術者の割合の低さは顕著で、有効な解決策が模索されています。本講演では、日本における女性の理系進路選択の実態や外国における理工系分野の女性の実態、また解決のための取組みなども紹介しながら、私たちにできることをともに考えます。

略歴

1996年、山形大学教育学部(教育社会学)に着任、改組等を経て現在に至る。仙台市報化推進会議委員、山形県科学技術会議委員等を歴任、今年度より日本学術会議連携会員。著書に『教育社会とジェンダー』(共編、学文社、2014)、『高校の「女性」校長が少ないのはなぜか』(共編、学文社、2011)、『教員評価の社会学』(分担、岩波書店、2010)、『理科離れしているのは誰か』(分担、日本評論社、2004)、論文に「女子高校生の「文」「理」選択の実態と課題」(『科学技術社会論研究』第7号、2009)など。

医薬理工の異分野融合における
イノベーションとキャリアパス

山西 陽子氏(芝浦工業大学工学部機械工学科)

講演概要

本講演ではこれまでの研究生活におけるキャリアパスを中心に、学生時代から現在に至った背景について研究内容を交えて発表を行います。海外での学生生活や学位取得について、博士取得後のポスドク時代における異分野融合研究との出会い、ネットワーク作りや学会活動、プロジェクト獲得について、その後の教員としての研究・教育環境について、専門である医療・バイオ分野と工学の融合技術である研究内容を交えて発表を行います。

略歴

1997年 芝浦工業大学機械工学科卒業
2003年 ロンドン大学インペリアルカレッジ博士課程修了
2004年 芝浦工業大学機械工学科特任講師
2008年 東北大学大学院工学研究科助教
2009年 JSTさきがけ専任研究員(ナノシステムと機能創発領域)
2011年 名古屋大学大学院工学研究科准教授
2013年 芝浦工業大学機械工学科准教授となり現在に至る
専門はマイクロ混相流体力学、BIO-MEMS等であり2013年よりJSTさきがけ兼任研究員(細胞機能の構造的な理解と制御領域)でもある



FAX
でのお申込み

下記項目をご記入の上、
12月8日までにご送信ください。

* お名前	性別	男	・	女	・	その他
* 所属						
電話番号	* メール アドレス					
シンポジウムをどこでお知りになりましたか (複数可)	ポスター ・ チラシ ・ 本学ウェブサイト ・ 他ウェブ ・ 知人から ・ 他					

*必ずご記入ください。

FAX送信先: **048-720-6441**

MAIL
でのお申込み

件名を「参加希望」とし、本文に「お名前」「所属」「メールアドレス」をご記入の上、
12月8日までに下記アドレスへご送信ください。

メール送信先: **c-g-equality@ow.shibaura-it.ac.jp**

※お送りいただいた個人情報は、本シンポジウムお申込み後のお問い合わせやご連絡のみに使用いたします。